

平成31年度当初予算
部局別要求方針

都 市 建 設 部

部局別予算要求方針

部の現状、課題、予算要求方針等を記入して下さい。

1 31年度予算要求にあたっての基本的な考え方(予算編成方針を踏まえて) (経営方針)

○次の世代を見据え「地域力」を引き続き伸ばす環境づくりが求められる中で当部の果たすべき役割は大きいです。

この点で、次の長浜を「持続可能な・ながはま」「住み続けたい・ながはま」「若者、子育て世代を引込む・ながはま」となるように『地図に残る仕事』を進めていきます。特に、条件整備や課題解決などに時間を要した事業が個々の職員の努力により動き出すことができました。これら事業については平成31年度しっかり進めてまいりたいと考えています。

(ポイント)

I これからの市勢維持に向け田村駅周辺をはじめ、神田SICを含む南長浜の居住、経済活動と学術の充実を誘導する整備とビジョンづくりを進めます。

II 社会資本としての「道路・橋梁・公園・住環境」の新たな整備と長寿命化対応を計画的に進めるとともに、公共交通システムと空家対策での住みやすさ確保と次世代への長浜づくりに向け持続可能な都市経営に向けた調査・分析を行います。

III 当部の事業推進を持続可能なものとする点で「職員力の維持確保」は極めて重要であり、大きな課題です。この点で「人員確保と資質の向上」に取り組みます。

2 予算要求の重点事項(新年度の取組目標、新規施策等)

(優先すべき事業)

- ・ 田村駅周辺整備事業(駅自由通路基本設計・駐車場整備・都市計画街路整備)
(自由通路を中心とした基本設計。田村駅南駐車場の新規整備を実施)
- ・ 市道南田附神前線(第3工区)道路改良整備事業
(用地買収、店舗営業補償契約の締結)
- ・ 北新団地建替整備事業
(アドバイザーの支援を受け要求水準の確定と、特定事業者選定と契約に繋つなげる)
- ・ 都市公園(豊公園、(新)長浜中央公園)整備事業
(豊公園:駅からの導線、エントランス部分の整備・中央公園:園内面整備それぞれ着手)
- ・ 橋梁長寿命化事業
(1橋の工事着手と1橋の補修詳細設計及び今後の長寿命化実施計画の策定)

(事業の必要性)

- ・ 田村駅周辺整備事業(駅自由通路基本設計・駐車場整備・都市計画街路整備)
(H34年度自由通路完成に向け進める。乗降者3000人/日確保に向け環境整備)
- ・ 市道南田附神前線(第3工区)道路改良整備事業
(永年進まなかった用地交渉が進んだことから早期の事業完了を目指す)

- ・北新団地建替整備事業

(築後約 50 年が経過しており安心安全の確保に、アドバイザー契約で準備進行中)

- ・都市公園（豊公園、(新)長浜中央公園）整備事業

(国体会場としての豊公園と、(新)長浜中央公園の早期の機能確保に整備が急がれる)

- ・橋梁長寿命化事業

(1000 橋の検査の結果、5 年以内に 40 橋の早急な修繕が求められており計画的対応急務)

3 事務事業の再構築（事務事業の検証・見直し、選択と集中の結果）

○厳しい予算編成条件下ではありますが、事業の着手等に関し条件整備や課題解決などに時間を要していた事業について、職員の努力により関係者の協力を受けることができない、計画が動き出す事業がいくつかあります。今動かなければ市民との信頼関係を損ねることになり、事業の進捗がかなわなくなります。

これら事業については、それぞれの個別計画に基づき進めているものであり今後における「地域力」を引き続き伸ばす環境づくり関連事業であり平成 31 年度しっかり動き出したいと考えています。

○事業費積算にあたっては、安易な繰越とならないよう年度内完了が見込める範囲。今年度に引き続き連続的継続的事業執行ができる範囲での要求にしました。

○財源確保に向け、国の交付金採択の可能性を追求するとともに、査定段階で土地開発基金等の活用を視野に一般財源の圧縮に取り組む中での事業の確かな進捗を議論させていただき事業費確保を努めたいと考えています。

○長期的な視野に立つ中で、今大切な事業を優先順位上位に位置づけるとともに、単独道路整備での石田宮司線など一定の方向性を確保できた中で事業の先延ばしの可能なものについて整理しました。

額的に圧縮できなかったことは反省いたしますが、すべきことは確実に進めさせていただきたく議論するなかでのご理解をお願いいたします。